



神海丸通信

第二号

気温も27℃近くになり、実習生は冬服から夏服に切り替え、毎日をご過ごしています。本科生の船酔いもほとんど回復し、順調に実習が進んでいます。

一月三十日、初縄を迎え今航海の操業がスタートしました。本科生はまだまだ仕事に慣れていませんが、専攻科生は本科生の指導もしながら、前航海の経験や失敗を思い出しながら頑張っています。

三崎を出港してから軽い風邪などで体調不良者が数名いましたが、操業が始まるまでに全員回復し、万全の体調で始めることができました。

最後まで怪我、事故などないよう安全に千秋楽まで頑張りたいと思います。



二月一日、焼津のマグロ漁船「第三十二福久丸」の讃岐船漁労長（隠岐水五十期漁業科卒）から、実習生に美味しいマグロを食べて欲しいと、会合が行われました。福久丸から出された救命イカダを使ってマグロを受け取りました。

次の適水にはおいしい刺身が出るようです。受け渡しでは、両船の正確な操船技術を目にして、本科生・専攻科にとって、とても貴重な経験になりました。



編集・カメラマン／H・T